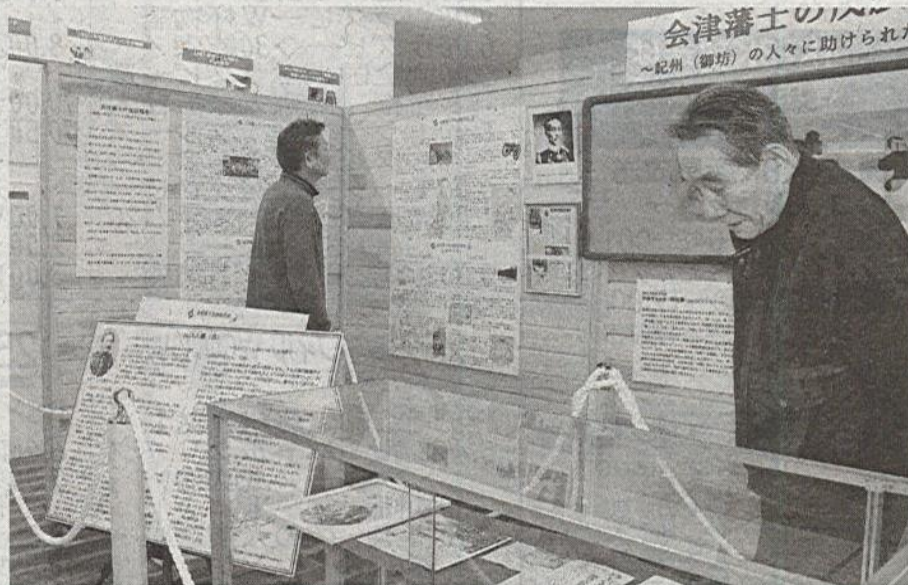


平成31年2月20日(水)読売新聞

御坊で救われた会津藩士



会津藩と紀州との関わりなどを紹介するパネルに見入る来場者ら(御坊市で)

パネルで幕末史紹介



山川浩=会津武家屋敷提供

幕末の会津藩士の行動や御坊の人々との関わりを紹介するパネル展が、御坊市の御坊寺内町会館で開かれている。3月下旬まで。無料。

「会津藩士の戊辰戦争」紀州(御坊)の人々に助けられた会津藩士」とのタイトルで、1868年の「鳥羽伏見の戦い」の後、藩士約1800人が紀州に逃げ込み、村人らにもてなされ

たことや、後に家老になる山川浩が熱病にかかり、現在の御坊市で宿を営んでいた中野家の女将の手厚い看護で回復したとのエピソードなどが、パネル10枚で紹介されている。中野家の子孫は昨年、山川から贈られた礼状や九谷焼の皿などを福島県会津若松市に寄贈。市は記念事業で礼状などを展示し、紀州との交流についても紹介された。

開館は火、金、土、日曜と祝日の午前11時〜午後4時。問い合わせは御坊市教委生涯学習課(0738・23・51215)へ。